



神奈川県立津久井やまゆり園での事件について

7 月 26 日未明に起きた事件により犠牲となられた方々とご遺族の方々に心より哀悼の意を表すとともに、負傷された方々の一日も早いご回復とやまゆり園の皆様が早く以前の生活に戻れることをお祈り申し上げます。

障がい者ご自身をはじめとして多くの方々が、障がいは決して特別なことではなく、障がいがあっても、その障がいのままに受け入れる社会の実現に向け、長きにわたって、その取組を積み重ねてこられました。今回の事件によって皆様方のご努力が後戻りすることのないことを、切に願うものです。

私ども社会福祉協議会は、地域福祉を推進する団体として、日頃から障がいのある方々への理解の促進、また社会福祉施設と地域の方々との交流、連携による市民が一体となった支えあい活動の後押しを行ってまいりました。今回の事件を機に、命と人権が尊重され、一人ひとりの多様な在り方を相互に認め合う社会への歩みがとどまることのないよう、地域福祉の推進に向け一層努力する次第です。

相模原市社会福祉協議会 会長 戸塚 英明

地域貢献型自動販売機の取組

にこまる自動販売機が登場！

本会では、公民館やまちづくりセンター、企業の敷地、個人のお宅等に清涼飲料水の自動販売機を設置させていただき、売り上げの一部を高齢者等を対象とした「ふれあい・いきいきサロン」や子育て中の親子を対象にした「子育てサロン」など市民の皆様が取り組む福祉活動の財源として活用しています。

●身近な情報を提供！災害にも対応！

自販機の電光掲示板には、福祉講座等の身近な福祉情報や相模原市・本会からのお知らせの他、時事フラッシュニュースや緊急時における災害情報などを表示します。さらに災害緊急時等には、リモート操作により飲料水を無料で提供することができ機能があります。写真右は7月からウェルネスさがみはら前に設置された本会マスコットキャラクター「にこまる」のラッピング自販機です。

●新たな設置場所を募集中です。

地域貢献型自動販売機を設置していただける企業や個人を募集しています。ご検討いただける方はぜひお問い合わせください。職員が説明に伺います。

問総務課 総務係 電話 042-730-3888



「ゆるキャラグランプリ
2016」『にこまる』参戦！
応援よろしくお願いします☆



コミュニティソーシャルワーカー実践の評価検証

7月4日（月）に第8次地域福祉活動計画に基づく事業等を進行管理する「第4回地域福祉活動計画等推進委員会」を開催しました。

平成27年度よりモデル3地区（城山、田名、相武台）に配置しているコミュニティソーシャルワーカー（以下CSW）による相談支援の昨年度の実績を評価・検討しました。①制度の狭間にある要支援者への相談対応 ②専門相談機関とのネットワーク ③住民活動との協働と支援 ④新たなサービスや仕組みの開発 ⑤市社協の体制整備 を視点に評価、検討をし、今後の課題として①専門機関との連携強化 ②CSW実践スキルの向上及び習得 ③福祉コミュニティ形成事業を基盤とした住民活動の促進 ④地域と施設の協働活動の推進について議論しました。

課題別検討委員会開催

社会福祉法人をはじめとする福祉施設の社会貢献活動の促進と増大する福祉ニーズへ対応する人材確保を目的に平成27年度から二つの課題別検討委員会を設置しました。

●福祉の魅力を発信！

福祉の仕事の魅力発信方策検討を目的とした「福祉のしごと・魅力づくり検討委員会」は7月21日（木）に第4回委員会を開催。ここでは進路について考え始める高校生を対象に福祉のしごとの魅力を効果的に伝える出張授業のプログラム・教材の開発、また広く市民に魅力を伝えることを目的にした、広報紙や地域情報紙、ソーシャルネットワークサービス（SNS）等を活用方法の検討を進めました。特に授業プログラム・教材の開発については市内の高齢・障がい・保育の施設の現場で働く職員による「魅力発信チーム」を新たに立ち上げ、高校生にしごとのやりがい、難しさを含めた「魅力」を伝える具体的な方法について検討を進めていきます。

●情報の共有を目指して

小圏域（地区）での社会福祉施設と地区社協等、住民活動との協働による地域の支えあい活動推進方策検討を目的とした「施設と地域の協働による社会貢献活動検討委員会」を7月22日（金）に開催。大規模災害に対する施設と地域の連携、施設と地域の協働による取組の展開、施設と地域の協働による取組の基盤づくりの3点について検討が行われました。施設と地域、それぞれの取組の情報の共有、顔の見える関係づくりの必要性が指摘され、情報共有等を進めるための取組として、既存の会議の活用や地区内での情報交換会の実施、活動事例集の発行等について検討を進めています。

地区住民相談支援活動の取組

～横山地区 「コミュニティよこやま 憩」～

本会が第8次地域福祉活動計画の重点事業に掲げる「地区住民相談支援活動」については、市内22地区の地区社会福祉協議会を中心に、「日常のちょっとした困りごとを地域で解決する仕組づくり」として各地区の特性・状況に合わせた取組が進められています。

その一つとして、横山地区社協では「コミュニティよこやま 憩（いこい）」を地区内の団地「横山台タウンハイツ」の集会所を借りて開設。毎週月曜日と金曜日の午前10時から午後3時まで、窓口ボランティアが常駐し、地域住民の交流拠点として運営されています。

誰でも自由に出入りが出来て、お茶を飲んだり、来所者同士でおしゃべりしたり、横山高齢者支援センターやボランティアの協力により開かれる「体操教室」、「手芸教室」などのプログラムにも参加できます。

「憩」の取組は、仲間づくりの場としてはもちろんのこと、おしゃべりなどを通じた「身近な相談の場」としての機能も位置付けられ、「拠点」方式による「地区住民相談支援活動」として期待されています。



<体操教室の一コマ>